

新潟日報

ふるさと得集

県内は、うだるような暑さが続いている。外を歩けば汗が噴き出し、照りつける日差しがうらめしい。

表通りの角を折れ、ちよど人がすれ違えるほどの幅しかない脇道に入る。両脇にびっしり並ぶ家屋が目よけになり、吹き抜ける風がほおをなでる。ふと一息ついた。

女園の前に整然と置かれた鉢植えに、じょうろを傾ける年配の男性。通り掛かった女性が親げに声を掛けた。その脇を猫がゆっくり横切る。屋根と屋根の間を見上げると、抜けるような青空。茶色の板堀とのコントラストが鮮やかだ。

新潟市中央区の古町周辺。町の区画は江戸時代に出来上がった。近代化とともに拡幅、延長された柱

谷小路は今やオフィスや店が集まる目抜き通りに。かたや、商店街脇の小路は行き交う人もまばら。どこからか井戸端会議の声も漏れ、下町の風情を感じさせる。

古町の上から日山付近の下まで、2時間ほどかけて小路をゆっくり歩いてみた。湊町新潟をしのばせる旧家や町屋が迎えてくれる。途中、菓子店で家族の土産も買っている。ちょっとした旅行気分になるのも悪くない。

さあ夏の日とき、情緒あふれる小路に出掛けてみようか。

柳都の情緒 小路散策

にいがた 小路歩き特集

6・7面

小路の名所・味

全国路地サミット実行委員長に聞く

8面

本社事業案内

生活感あふれて

ゆっくりと時間が流れる小路には、人々の生活感があふれる―新潟市中
央区本町通4の盛屋（いかりや）小路

